

松江市結核予防費補助金交付要綱（平成 30 年松江市告示第 424 号）の一部を次のように改正する。

令和 4 年 10 月 13 日

松江市長 上 定 昭 仁

次の表により、改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分は、これに対応する改正後欄に掲げる規定の下線を付した部分のように改める。

改正後		改正前	
(終期) 第 9 条 この補助金の終期は、 <u>令和 5 年 3 月 31 日</u> とする。		(終期) 第 9 条 この補助金の終期は、 <u>令和 4 年 3 月 31 日</u> とする。	
別表(第 5 条関係)		別表(第 5 条関係)	
基準額	次に掲げる額の合計額 (1) <u>506 円</u> ×医療機関で 100mm ミラーカメラにより間接撮影を受けた者の延べ数。ただし、やむを得ない事情により、精密検査ではなく直接撮影を受けたものについても、この延べ数に加えることとする。 (2) <u>7,994 円</u> ×医療機関で精密検査（事後処置としての精密検査を含む。）を受けた者の延べ数	基準額	次に掲げる額の合計額 (1) <u>505 円</u> ×医療機関で 100mm ミラーカメラにより間接撮影を受けた者の延べ数。ただし、やむを得ない事情により、精密検査ではなく直接撮影を受けたものについても、この延べ数に加えることとする。 (2) <u>7,818 円</u> ×医療機関で精密検査（事後処置としての精密検査を含む。）を受けた者の延べ数
	略		略
様式第 1 号 <u>別紙のとおり</u>		様式第 1 号 <u>別紙のとおり</u>	
様式第 2 号 <u>別紙のとおり</u>		様式第 2 号 <u>別紙のとおり</u>	

<改正後>

様式第1号(第6条関係)

年 月 日

(あて先) 松江市長

申請者 所在地

名称

(代表者 職)

フリガナ

氏名

生年月日 年 月 日 生

(対象学校(施設)名)

結核予防費補助金交付申請書

年度における結核予防費補助金について、次のとおり交付されるよう申請します。

なお、補助事業に暴力団員又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者を関与させないことを誓約します。

記

- 1 補助金交付申請額 金 円
- 2 事業の内容
年度結核予防費補助金所要額明細書(別紙1)
- 3 添付書類
年度予算書抄本(別紙2)
又は 年度予算書(関係分のみ)の写し

年度結核予防費補助金所要額明細書

(単位:円)

(A) 補助対象経費 の支出予定額	(B) 収入予定額	(C) 差引額 ((A)-(B))	(D) 交付基準に よる算定額	(E) 補助基本額 ((C)(D)のい ずれか少ない額)	(F) 補助申請額 (E)×2/3	備 考
						内 訳 (1)・(2) のとおり

(注) 補助申請額(F)に1円未満の端数が生じたときは切り捨てること。

(1) 健康診断実施計画

(実施予定日 _____ ~ _____)

区分	対象者数 人		受診者数 人	受診率 %	間接撮影 人	精密検査 人	事後処置分 人	合計 円
学校 (入学年度に1 回)	1年生 (新入生)							/
施設 (毎年度1回)	施設入所者 (65歳以上)							
計 (人員)								
補助対象経費の支出予定額(円)		/						
交付基準による算定額(円) (補助基準単価×実施人数)								
補助基準単価(円)								

1. 「対象者数」欄には、この補助事業の対象となるべき人員を記入のこと。「受診者数」欄には、この補助事業の受診実人員を記入のこと。
2. 「交付基準による算定額」欄には、各欄の人員に松江市結核予防費補助金交付要綱別表の基準額単価を乗じて得た額を記入のこと。

(2) 備品購入費所要額明細

品 目	支出予定額		備 考
	数量	金額(円)	
合 計			

1. 本事業の対象経費として5万円以上の備品を購入する場合に記載すること。
2. 「備考」欄に品目の必要理由を記載のこと。

年度予算書抄本

(歳入)

(単位:円)

費目	本年度予算額 (見込額)	前年度予算額	比較 増(△)減	備考
合計				

(歳出)

(単位:円)

費目	本年度予算額 (見込額)	前年度予算額	比較 増(△)減	備考
合計				

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

申請者

<改正前>

様式第1号(第6条関係)

年 月 日

(あて先) 松江市長

申請者 所在地

名称

(代表者 職)

フリガナ

氏名

印

生年月日 年 月 日生

(対象学校(施設)名)

結核予防費補助金交付申請書

年度における結核予防費補助金について、次のとおり交付されるよう申請します。
なお、補助事業に暴力団員又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者を関与させないことを誓約します。

記

1 補助金交付申請額 金 円

2 事業の内容

年度結核予防費補助金所要額明細書(別紙1)

3 添付書類

年度予算書抄本(別紙2)

又は 年度予算書(関係分のみ)の写し

年度結核予防費補助金所要額明細書

学校（施設）名 _____

（単位：円）

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	
補助対象経費 の支出予定額	収入予定額	差 引 額 ((A)-(B))	交付基準に よる算定額	補助基本額 ((C)(D)のい れか少ない額)	補助申請額 (E)×2/3	備 考
						内 訳 (1)・(2) のとおり

（注） 補助申請額（F）に1円未満の端数が生じたときは切り捨てること。

様式第1号（別紙1）内訳

(1) 健康診断実施計画

(実施予定日 年 月 日 ~ 年 月 日) 学校(施設)名 ()

区分	学校数 施設数	対 象 者 数		受 診 者 数	受 診 率	健 康 診 断					合 計
						間接撮影	精密検査		事後処置分		
						ミラーカメラ 100mm	通常検査	直撮のみ	通常検査	直撮のみ	
学校 (入学年度に1回)		1年生 (新入生)	人	人	%	人	人	人	人	人	
施設 (毎年度1回)		65歳以上の 入居者	人	人	%	人	人	人	人	人	
合計			人	人	%	人	人	人	人	人	
補助対象経費の支出予定額 (円)											
交付基準による算定額 (円)											

1. 「対象者数」欄には、この補助事業の対象となるべき人員を記入のこと。「受診者数」欄には、この補助事業の受診実人員を記入のこと。
2. 「交付基準による算定額」欄には、各欄の人員に松江市結核予防費補助金交付要綱別表の基準額単価を乗じて得た額を記入のこと。

(2) 備品購入費所要額明細

品目	支出予定額		備 考
	数量	金額	

1. 本事業の対象経費として5万円以上の備品を購入する場合に記載すること。
2. 「備考」欄に品目の必要理由を記載のこと。

年度予算書抄本

（歳入）

（単位：円）

費目	本年度 予算額 (見込額)	前年度 予算額	比較 増(△)減	各目明細	
				金額	備考
合計					

（歳出）

（単位：円）

費目	本年度 予算額 (見込額)	前年度 予算額	比較 増(△)減	各目明細	
				金額	備考
合計					

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

申請者

印

<改正後>

様式第2号(第8条関係)

年 月 日

(あて先) 松江市長

報告者 所在地

名称

(代表者 職)

フリガナ

氏名

(対象学校(施設)名)

結核予防費補助金実績報告書

年度結核予防費補助事業を次のとおり完了したので報告します。

記

- 1 補助金精算額 金 円
- 2 事業実績内容
年度結核予防費補助金精算額明細書(別紙1)
- 3 添付書類
年度決算書抄本(別紙2)
又は領収書の写し

年度結核予防費補助金精算額明細書

(単位:円)

(A) 補助対象経費 の実支出額	(B) 収入額	(C) 差引額 ((A)-(B))	(D) 交付基準に よる算定額	(E) 補助基本額 ((C)(D)のい ずれか少ない額)	(F) 補助金額 (E)×2/3	(G) 補助金交付 決定額	(H) 補助金 受入額	(I) 差引過 (△)不足額 (H)-(F)	備考
									内訳 (1)・(2) のとおり

(注) 補助金額(F)に1円未満の端数が生じたときは切り捨てること。

(1) 健康診断実績内訳

(実施日 _____ ~ _____)

区分	対象者数 人	受診者数 人	受診率 %	間接撮影 人	精密検査 人	事後処置分 人	合計 円
学校 (入学年度に1 回)	1年生 (新入生)						/
施設 (毎年度1回)	施設入所者 (65歳以上)						
計 (人員)							
補助対象経費の実支出額(円)		/					
交付基準による算定額(円) (補助基準単価×実施人数)							
補助基準単価(円)							

1. 「対象者数」欄には、この補助事業の対象となるべき人員を記入のこと。「受診者数」欄には、この補助事業の受診実人員を記入のこと。
2. 「交付基準による算定額」欄には、各欄の人員に松江市結核予防費補助金交付要綱別表の基準額単価を乗じて得た額を記入のこと。

(2) 備品購入費所要額明細

品目	実支出額		備考
	数量	金額(円)	
合計			

1. 本事業の対象経費として5万円以上の備品を購入した場合に記載すること。
2. 「備考」欄に品目の必要理由を記載のこと。

年度決算書抄本

（歳入）

（単位：円）

費目	本年度予算額	本年度決算額 （見込額）	比較 増(△)減	備考
合計				

（歳出）

（単位：円）

費目	本年度予算額	本年度決算額 （見込額）	比較 増(△)減	備考
合計				

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

報告者

<改正前>

様式第2号（第8条関係）

年 月 日

（あて先）松江市長

報告者 所在地

名称

（代表者 職）

氏名

（対象学校（施設）名）

印

結核予防費補助金実績報告書

年度結核予防費補助事業を次のとおり完了したので報告します。

記

- 1 補助金精算額 金 円
- 2 事業実績内容
年度結核予防費補助金精算額明細書（別紙1）
- 3 添付書類
年度決算書抄本（別紙2）
又は領収書の写し

年度結核予防費補助金精算額明細書

学校（施設）名 _____

（単位：円）

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	
補助対象経費 の実支出額	収入額	差引額 ((A)-(B))	交付基準に よる算定額	補助基本額 ((C)(D)のい ずれか少ない額)	補助金額 (E)×2/3	補助金交付 決定額	補助金 受入額	差引過 (△)不足額 (H)-(F)	備考
									内訳 (1)～(3) のとおり

（注） 補助金額（F）に1円未満の端数が生じたときは切り捨てること。

様式第2号（別紙1）内訳1

（1）健康診断実績内訳

（実施日 年 月 日 ～ 年 月 日） 学校（施設）名（ ）

区分	学校数 施設数	対 象 者 数		受 診 者 数	受 診 率	健 康 診 断					合 計
						間接撮影	精密検査		事後処置分		
							ミラーカメラ 100mm	通常検査	直撮のみ	通常検査	
学校 （入学年度に1回）		1年生 （新入生）	人	人	%	人	人	人	人	人	
施設 （毎年度1回）		65歳以上の 入居者	人	人	%	人	人	人	人	人	
合計			人	人	%	人	人	人	人	人	
補助対象経費の実支出済額（円）											
交付基準による算定額（円）											

1. 「対象者数」欄には、この補助事業の対象となるべき人員を記入のこと。「受診者数」欄には、この補助事業の受診実人員を記入のこと。
2. 「交付基準による算定額」欄には、各欄の人員に松江市結核予防費補助金交付要綱別表の基準額単価を乗じて得た額を記入のこと。

（2）健康診断支出明細

支出科目 （節）	健康診断費					合 計	備 考
	間接撮影費	精密検査費		事後処置費			
		通常検査	直撮のみ	通常検査	直撮のみ		
							医師雇上費 1日 _____ 円
							看護師雇上費 1日 _____ 円

（注）支出科目は節科目を記入し、2以上の科目（款項目）にわたる場合には、それぞれの同一節科目に合算して記入のこと。

様式第2号（別紙1）内訳2
（3）備品購入費所要額明細

品目	支出予定額		備 考
	数量	金額	

1. 本事業の対象経費として5万円以上の備品を購入する場合に記載すること。
2. 「備考」欄に品目の必要理由を記載のこと。

年度決算書抄本

(歳入)

(単位:円)

費目	本年度 予算額	本年度 決算額 (見込額)	比較 増(△)減	各目明細	
				金額	備考
合計					

(歳出)

(単位:円)

費目	本年度 予算額	本年度 決算額 (見込額)	比較 増(△)減	各目明細	
				金額	備考
合計					

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

報告者

印

附 則

この告示は、令和4年10月13日から施行し、令和4年4月1日から適用する。